

明石市立大久保北中学校

第38回生

学年通信

しあわせなろう

2023年

4月27日

第84号

トライやる・ウィークに向けて

先日、兵庫県 NIE 推進協議会事務局長 神戸新聞 NIE 推進部シニアアドバイザーの ○○○様を招き、トライやる・ウィークの新聞づくりに向けて、「新聞書き方講座」を開きました。

その中で、取材の仕方（インタビュー術、メモの取り方、写真の撮り方）、記事の書き方（5W1H を押さえる、レイアウトの工夫、見出しの工夫）等、様々な新聞づくりのノウハウを教えてくださいました。

今回得た知識を活用し、6月5日（月）からのトライやる・ウィークで学んだことをしっかりとまとめ、実りあるものにしていきたいですね。



新聞書き方講座を受けてその①

1組

私が新聞書き方講座を受けて、私たちがかるく見ていたものがあんなに工夫されているんだなと気づきました。家にテレビがない人、スマホがない人、それぞれの役に立っていて、しかもわかりやすいので、私もそんな新聞を作りたいです。

写真の撮る位置や、角度、見出しの工夫、それが読む人に伝わってほしいです。

私はインタビューや人と喋るのが苦手で、メモを取るのも苦手なので、今日教えてもらったように必要な言葉だけを重点的にメモしていきたいです。

その他にも、色や形、大きさなどを変えて、高齢者の方や小さな子供まで楽しく読みやすくなっているような新聞を作りたいです。

私は新聞をあまり読まないけど、これから家にある新聞に目を通して、これらの工夫を身の回



りの人に伝えていってもらい、私も作る新聞を伝わりやすく、楽しい新聞を作りたいです。

2組

私は新聞書き方講座を受けて、新聞はいろいろ工夫されて作られていることを知りました。

例えば、インタビューの時にあらかじめ下調べをしておくことや質問を考えておくことで、相手から良い話をしてもらえようとしているのが凄いと思いました。インタビューの相手のリズムに合わせて、笑顔で聞いたりすることで、相手も話しやすくなって、こぼれ話をしてもらえたりすることもあるんだとわかりました。また、記事を書くときは、見出しの色や形、大きさを変えたり、写真の場所を真ん中や上のほうにすることで、読みやすい記事になることがわかりました。

実際にインタビューをしてみると、予想外の答えが返ってきたり、追加で聞く質問が思い浮かばなかったりして難しかったです。

今日教えてもらったインタビューの仕方や、記事の書き方を使って、読んでくれる人に自分の言いたいことがちゃんと伝わる新聞を書きたいです。

3組

今日、たくさんのことを教えていただいて、自分が知らない細かいところまで丁寧に理解することができてよかったです。

見出しの役割や写真の取り方も知ることができました。

このことを活かして、トライやるウィークの新聞も、誰が見てもわかりやすい字の大きさや丁寧さに気をつけて書いていこうと思いました。私は長い作文を書いたりすることが得意なので、細かい部分にも気を配って書こうと思います。

毎学ノート終了 継続は力なり

～4月26日

3冊目…②

2冊目…②

⑤

1冊目…①

③

④

⑤

保護者のみなさまへ

校支援アプリが復旧しております。

遅刻・欠席などの場合は、公支援アプリで8:15までに連絡をお願いします。

電話連絡の際は、7:45～8:05までをお願いいたします。